

2025年度中に一般社団法人東京科学機器協会が実施した事業及びその他の活動状況について、次の通り要約して報告いたします。

事業報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで

〔組織と人事〕

1. 会員数に関する件（会員異動）

2025年度期首	325社
当期中の加入	10社
当期中の退会	5社
2025年度期末	330社
〈当期中の加入者〉	
アルテア技研株式会社	(2025年4月入会)
株式会社東亜計器製作所	(2025年4月入会)
KEI JAPAN 株式会社	(2025年5月入会)
株式会社 a. s. ist	(2025年6月入会)
QUER 株式会社	(2025年10月入会)
メルク株式会社	(2025年10月入会)
岩井化学薬品株式会社	(2025年10月入会)
株式会社東京真空	(2025年12月入会)
JEIO TECH JAPAN 株式会社	(2026年1月入会)
株式会社デジタルデータマネジメント	(2026年1月入会)

2. 役員・相談役・顧問・参与

理事長	：	長谷川壽一	(代表理事)				
副理事長	：	入江一光	(代表理事)	柴田眞利			
財務理事	：	下平克彦		高橋秀雄			
専務理事	：	山本直樹					
理事	：	富山裕明	西岡光利	福島 亮	平田紀行		
		谷尾俊昭	野村篤史	三田村義崇	浦 明子		
		金谷幸一郎	白井一夫	中井 泉	荻田容宏		
		山田義之	葭 哲二	澤田 正			
監事	：	栗田宣義	土井将司				
相談役	：	入江照四	矢澤英人	関谷幸弘	杉山雄之介		
		荻田隆久	木崎民生	増田太郎			

参 与 : 今村 清 雨宮重夫 野村雅久 平井夏夫
 白井義則 森川 智 江守 栄 高木康光
 徳増安則 野木賢一 佐藤文俊 青柳喜彦
 南 明則 西原克年 木村 勉 梅垣喜通

3. 事務局異動

2025年10月31日 山河正道 定年退職

4. 総務会・監事会・委員会等

当期中、活動した運営委員会・事業委員会等は次の通り。

〈 総 務 会 〉

長谷川壽一 入江一光 柴田眞利 下平克彦 高橋秀雄
山本直樹 富山裕明 西岡光利 福島 亮

〈 監 事 会 〉

栗田宣義 土井将司

〈 常設委員会 〉

(1) 展示会委員会 (22名)

委員 長 : 柴田眞利
副委員 長 : 高橋秀雄 野村篤史
委 員 : 中井 泉 葎 哲二 石井博高 青木 崇
 伊藤忠浩 遠藤 聡 岡部和徳 鎌田健嗣
 北村英樹 木下麻奈美 栗谷聡一 小池のり子
 小林栄治 田口浩之 田中 剛 永易亜沙子
 布村友子 渡辺 徹 伊藤弘一郎

(2) 総覧委員会 (11名)

委員 長 : 福島 亮
副委員 長 : 大館洋一
委 員 : 浦 明子 金谷幸一郎 白井一夫
 藤本浩正 住友美貴 藤原将展 石川央紀
 北川純一 時津和弘

(3) 経済・技術委員会 (11名)

委員 長 : 西岡光利
副委員 長 : 下平克彦 平田紀行
委 員 : 三田村義崇 白井一夫 中井 泉 山田義之
 若井田健文 佐藤嘉紀 國井康裕 工藤 寛

- (4) 広報委員会 (11名)
委員長：富山裕明
副委員長：野村篤史 三田村義崇
委員：高橋秀雄 葎哲二 外嶋友哉 若井田健文
夏目知佳子 鈴木裕之 筒井紫乃 國井康裕

- (5) 交流・厚生委員会 (3名)
委員長：谷尾俊昭
副委員長：浦明子
委員：荻田容宏

- 第77回 新春大懇親会幹事会 (3名)
代表幹事：金谷幸一郎
副代表幹事：浦明子 白井一夫

- (6) 国際委員会 (10名)
委員長：下平克彦
副委員長：福島亮 金谷幸一郎
委員：鵜殿直子 中川洋祐 伊東義則 奥川博
下川宏行 八島省一 孫黎 (臨時委員)

〈 特別委員会 〉

- (1) 規約・協会将来委員会 (6名)
委員長：入江一光
副委員長：下平克彦 高橋秀雄
委員：富山裕明 野村篤史 山田義之

- 女性活躍推進に関する準備委員会 (3名)
委員長：浦明子
委員：夏目知佳子 筒井紫乃

- (2) 会員増強・満足度向上委員会 (5名)
委員長：高橋秀雄
副委員長：柴田眞利 谷尾俊昭
委員：大館洋一 白井一夫

- (3) 選挙管理委員会 (16名)
委員長：野中智臣
副委員長：中川洋祐
委員：井上輝彦 河西誠司 岡田康弘 菅武彦
臨時委員：若井田健文 筒井紫乃 矢澤徹 佐藤嘉紀
國井康裕 仙北屋幸治 西岡寛人 富山晋作
渡辺雅大 酒井耕助

〈 創立 80 周年記念事業に関する委員会 〉

統括委員長：入江一光

(1) 創立 80 周年記念祝賀会委員会 (5 名)

委員長：柴田眞利

副委員長：高橋秀雄

委員：富山裕明 野村篤史 荻田容宏

(2) 80 年史編纂委員会 (7 名)

委員長：下平克彦

副委員長：西岡光利 平田紀行

委員：福島 亮 谷尾俊昭 川勝美早子

アドバイザー：外嶋友哉

〔 会 議 〕

1. 通常総会

第 80 回通常総会を次の通り開催した。

・日 時：2025 年 5 月 30 日 13:30～14:45

・会 場：上野・精養軒「桐の間」

・出席者：263 社（委任状含む）

承認議案は次の通り

第 1 号議案 2024 年度事業報告

第 2 号議案 2024 年収支決算報告

第 3 号議案 2025 年度事業計画(案) 審議

第 4 号議案 2025 年度収支予算(案) 審議

第 5 号議案 推薦によって選出する理事審議

2. 理事会

定例理事会を開催した。

8 回開催

3. 監事会

2 回開催

監査のため監事会を開催した。

・開催日：2025 年 4 月 14 日

・会 場：（一社）東京科学機器協会 会議室

監査の準備のため監事会を開催した。

・開催日：2026 年 3 月 17 日

・会 場：（一社）東京科学機器協会 会議室

〔委員会等〕

1. 総務会

協会運営に関する重要事項を検討・協議した。 11 回開催

2. 常設委員会・幹事会

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 展示会委員会 | 2 回開催 |
| (2) 総覧委員会 | 3 回開催 |
| (3) 経済・技術委員会 | 4 回開催 |
| (4) 広報委員会 | 6 回開催 |
| (5) 交流・厚生委員会 | 2 回開催 |
| (6) 国際委員会 | 3 回開催 |
| (7) 第 77 回新春大懇親会幹事会 | 6 回開催 |

3. 選挙管理委員会

役員改選に係る一連の準備手続きを行った。 1 回開催

4. 規約・協会将来委員会

理事長からの諮問に応じ、協会運営の円滑化のために、運営の課題、組織のあり方、その他当会の将来展望について協議・検討を行った。 2 回開催

5. 会員増強・満足度向上委員会

会の組織強化に向けて、会員増強及び満足度向上に関する対策及び募集活動を積極的に行った。 3 回開催

6. 創立 80 周年記念事業に関する委員会

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 創立 80 周年記念祝賀会委員会 | 6 回開催 |
| (2) 80 年史編纂委員会 | 5 回開催 |

〔事業活動概要〕

1. 「JASIS 2025」開催に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催した本展示会の日科協側の実務・運営を受託，開催に協力した。本展示会では，会員企業をはじめ出展社にマーケティングの機会を提供し日本の科学技術の発展に寄与した。

◆ 「JASIS 2025」

- ・会 期 : 2025年9月3日～5日
- ・会 場 : 幕張メッセ
- ・主 催 : (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会
- ・総出展社数 : 443社／機関
- ・総出展小間数 : 1,287小間

・来場者数 単位：人

	JASIS2025	天気	JASIS2024
9月3日(水)	7,047	晴/曇	7,046
9月4日(木)	6,888	曇/雨	7,585
9月5日(金)	5,815	雨	7,287
合 計	19,750		21,918

2. 「JASIS 2026」の開催準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催する両展示会の日科協側の実務・運営を受託した。出展募集に当たっては，2026年1月に開催要項を作成，前回の出展社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布するなど，広く出展募集活動を行った。このほか，機関誌・ホームページ・e-mailなどを利用して，本展の広報・PRに努めた。

◆ 「JASIS 2026」開催概要

- ・会 期 : 2026年9月2日～4日 (3日間)
- ・会 場 : 幕張メッセ
- ・主 催 : (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会

3. 「科学・分析機器総覧 2026」印刷版・DVD版の編集・発行製作 および「WEB 科学機器総覧」の運営に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行した「科学・分析機器総覧 2026」印刷版・DVD版の編集・発行・製作の実務・運営を受託，掲載募集をはじめ原稿作成・校正等掲載会社との連絡や，編集作業などの活動を行い，同総覧の編集・発行・製作に協力した。

2025年9月に「科学・分析機器総覧 2026」印刷版・DVD版を発行製作(17,300部)、「JASIS 2025」をはじめ、「真空展 2025」,「SEMICONJapan 2025」,「NANO TECH 2026」,「光とレーザーの科学技術フェア 2025」等の会期中,来場者に配付したほか全国のユーザーに配布した。

また,WEB科学機器総覧(<https://www.soran.net>)は,約2,700製品を掲載している日本最大級の科学機器ポータルサイトとして,多くのユーザーの便宜に供している。

なお,日本の科学機器・分析機器取扱会社を世界に向けて紹介する「英語版ウェブサイト『SORAN』」(<https://soranjapan.com>)に,掲載会社は無料で掲載でき,現在143社が掲載している。

4. 「科学・分析機器総覧 2027」の編集・発行・製作準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行する「科学・分析機器総覧 2027」の編集・発行・製作の実務・運営を受託した。

掲載募集に当たっては,2026年1月に掲載募集案内を発信,前回の掲載会社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布するなど,広く掲載募集活動を行った。

このほか,機関誌・ホームページ・e-mailなどを利用して,広報・PRに努めた。

2026年9月に「科学・分析機器総覧 2027」を発行,「JASIS 2026」,「真空展 2026」,「SEMICONJapan 2026」,「NANO TECH 2027」などで来場者に配付する予定のほか,全国のユーザーに配布する予定。

5. 広報に係る事業

当期中,次の事業活動を行った。

- (1) (一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集・発行に協力

(一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集発行の実務・運営を受託,毎月1,750部発行(No.922~933)して,日本科学機器協会会員に配付したほか,関係機関等に寄贈するなどの活動を行い,編集発行に協力した。

- (2) 「科学機器入門」(第3版)を頒布

2023年1月に刊行した,冊子「科学機器入門」(第3版)は,会員をはじめ全国各地の希望者に有償で頒布した。

- (3) IT活用

協会ホームページで会員企業全社の紹介をはじめ,協会の事業内容・組織図,「JASIS」・「WEB科学機器総覧」のPR,技術情報,各種研究開発助成金制度や関係官庁・団体からの告示を転載するなど,会員にとって必要な最新情報を掲載した。また,(一社)日本科学機器協会をはじめ,関連機関とのリンクや内外からのアクセスに対し,e-mailによる回答や各種情報の受信・発信を行った。

URL: <https://sia-tokyo.gr.jp>

(4) 協会パンフレット (SIA TOKYO) の製作・配付

2024 年 9 月に製作した本会パンフレットを, 会員や関連機関等に広く配布した。

(5) その他, 会員に対する各種情報の提供

当期中に, 関係省庁・関係学会・関連団体等から入手した各種情報の内, 必要な事項について機関誌「科学機器」に掲載したほか, 主に e-mail による各種情報の発信を行った。また, 国内外からのアクセスに対しては, 電話をはじめ e-mail・FAX・郵便等による回答を行った。

6. 経済活動に係る事業

当期中, 次の事業活動を行った。

(1) 実勢景況調査実施に協力

(一社) 日本科学機器協会が毎年実施する実勢景況調査に協力し, 当業界の景気動向調査を行った (WEB 回答方式)。調査結果を機関誌「科学機器」に掲載し, 会員へ情報提供を行った。

(2) 「会員実態調査」実施に協力

(一社) 日本科学機器協会が 3~4 年毎に実施する会員実態調査に協力し, 当業界の全般的な調査を行った (今回から WEB 回答方式)。調査結果をまとめた会員実態調査報告書を発刊し, 全国の会員企業に電子ファイルにて配布した。また, 結果報告のダイジェスト版を機関誌「科学機器」に掲載した。

(3) 「新入社員研修」を開催

- ・日時・会場 : 2025 年 4 月 3 日~4 日 9 : 30~17:00
(一社) 東京科学機器協会 会議室
- ・講師 : 菊地理恵氏 (有)エファ 代表取締役)
- ・受講料 : 12,000 円
- ・受講者 : 7 社/13 名

(4) 「2025 年 ビジネスセミナー (オンライン)」を開催

- ・日時 : 2025 年 8 月 25 日 14:00~16:15
- ・参加形式 : オンライン
- ・テーマ・講師 :
 - ① 「製造業に係る政策課題と視点」
経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐大 森洋平氏
 - ② 「中小企業経営とカーボンニュートラル」
中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー 北林博人氏
- ・受講料 : 無料
- ・受講者 : 24 社/35 名

- (5) 「営業社員研修」を開催
- ・日時・会場：2026年2月4日 9:30～17:00
(一社) 東京科学機器協会 会議室
 - ・講師：牛道茂氏 氏 (有)エファ
 - ・受講料：6,000円
 - ・受講者：14社/24名
- (6) 「生産性向上特別措置法」および「中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な証明書発行手続き（日科協に協力）
- (一社) 日本科学機器協会が、「生産性向上特別措置法」、中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な「試験又は測定機器」と「測定工具及び検査工具（工具）」の証明書発行団体となっており、同会に協力して証明書発行業務を行い、本年度内に119件に証明書を発行した。

7. 技術振興に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

- (1) 「ナノテラス」見学会・「東北大学未来科学技術共同研究センター」見学・意見交換会実施
- ・開催日：2025年7月8日
 - ・集合：仙台市営地下鉄東西線 青葉山駅 10:00（現地集合・現地解散）
 - ・受講料：無料
- 【第1部】「ナノテラス」見学会
- NanoTerasu 〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1
10:30～12:00 概要説明/見学ホール・実験ホール見学
受講者：28社/47名
- 【第2部】「東北大学 未来科学技術共同研究センター」見学・意見交換会
- 東北大学 未来科学技術共同研究センター (NICHE)
13:00～15:00 NICHE クリーンルームでの半導体製造設備研究の見学
NICHE 産学連携のご案内と意見交換会
受講者：15社/18名
- (2) 「毒物劇物取扱者資格試験」2025年度受講準備会を開催
(（公社）日本理科教育振興協会と共催)
- ・会期：2025年7月28日～31日
 - ・会場：連合会館
 - ・講師：基礎 志賀孝作氏（東京都鍍金工業組合 環境科学研究所）
法規 戸井崎 茂氏（東京都鍍金工業組合 環境科学研究所）
各論 谷川貴信氏（多摩大学目黒中学校・高等学校）
 - ・受講料：44,000円
 - ・受講者：日科協会員 5社/6名

(3) 「科学機器学習教室」を開催

「真空編」

- ・日 時 : 2025年9月12日 15:00~17:00
- ・開催形式 : オンライン
- ・講 師 : 木ノ切恭治氏 (真空テクノサポート 代表)
- ・受講料 : 無料
- ・受講者 : 48社/122名

(4) 「AI リテラシーに関するセミナー」を開催

- ・日 時 : 2026年2月17日 セミナー 15:00~16:30
情報交換会 17:00~18:00
- ・会 場 : 貸し会議室 (神田・日本橋界限)
- ・講 師 : 沖本 拓也 氏 (ユームテクノロジージャパン(株)
生成AI エバンジェリスト)
- ・受講料 : 10,000円
- ・受講者 : 21社/38名

(5) (一社) 日本科学機器協会が関わった IEC (国際電気標準会議) の技術関連業務に協力した。

8. 国際活動に係る事業

当期中, (一社) 日本科学機器協会の業務に協力し, 次の活動を行った。

(1) 「海外ビジネスの基本セミナー」(中小機構) を開催

- ・テーマ: 「科学機器の海外展開・海外市場へのチャレンジ!」
- ・日 時 : 2025年7月16日 15:00~16:30
- ・開催形式 : オンライン
- ・講 師 : 中小企業アドバイザー 水澤重明氏
- ・受講料 : 無料
- ・受講者 : 31社/49名 (うち日科協会員は24社/38名)

(2) JASIS2025 期間中の事業

① 「第20回 ASIC」を開催

- ・日 時 : 2025年9月3日 11:30~13:30
- ・会 場 : 東京ベイ幕張ホール コートダジュール
- ・出席者 : 33名 (日本13名、台北7名、韓国2名、タイ2名、
台湾連合会2名、高雄7名)

② 「PITTCON コミッティとのミーティング」を開催

- ・日 時 : 2025年9月4日 11:30~13:00
- ・会 場 : アパホテル東京ベイ幕張

- ・出席者 : PITTCON コミッティ 3名 (一社) 日本科学機器協会 3名
- (3) 「第16回台北国際儀器展」出展に協力
- ・会期 : 2025年10月15日～10月18日
 - ・会場 : 台北世界貿易中心 展覽大樓 (台湾・台北市)
 - ・主催 : 台北市儀器商業同業公会
 - ・展示会に出展し、協会、科学・分析機器総覧、英語サイト「SORAN」などのPRを行った。
- (4) 「安全保障貿易管理説明会(初級編)」を開催
- ・日時 : 2025年12月16日 13:30～16:00
 - ・開催形式 : ハイブリッド(参集型会場 ワークスタイリング大手町)
 - ・講師 : 中小企業アウトリーチ事業 濱 宏氏
 - ・受講料 : 無料
 - ・受講者 : 会場10社/14名 オンライン36社/69名 計46社/83名
- (5) 「安全保障貿易管理セミナー中級編」を開催
- ・日時 : 2026年2月3日 13:00～16:00
 - ・開催形式 : ハイブリッド(参集型会場 ワークスタイリング大手町)
 - ・講師 : 安全保障貿易管理 自主管理促進アドバイザー 萩原 良信氏
 - ・受講料 : 無料
 - ・受講者 : 会場5社/7名 オンライン15社/54名 計20社/61名
- (6) 「PITTCON 2026」出展及び調査・研修ツアーの企画に協力
- ・旅行日程 : 2026年3月7日～11日
 - ・会場 : アメリカ・サンアントニオ
 - ・主催 : (株)阪急交通社
 - ・参加人数 : 5社/12名
 - ・(一社)日本科学機器協会を代表して、下平財務理事・国際委員長が訪問した。
 - ・展示会に出展し、協会、JASIS、英語サイト「SORAN」などのPRを行った。
(一社)日本分析機器工業会と共同出展)
- (7) “JETRO 貿易実務オンライン講座”に(一社)日本科学機器協会と共に協力
(一社)日本科学機器協会が、日本貿易振興機構(JETRO)と団体契約を結び、
2025年度において、JETRO 貿易実務オンライン講座に協力した。

9. 会員交流および厚生に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

- (1) 第80回通常総会 懇親会を開催
- ・日時 : 2025年5月30日 17:00～18:30

- ・会 場 : 上野精養軒 (3階 桜の間)
- ・参加者 : 約194名

(2) 「第13回 懇親ビヤパーティ」を開催

- ・日 時 : 2025年8月6日 18:00~20:00
- ・会 場 : 上野精養軒
- ・会 費 : 7,500円
- ・参加者 : 65社/411名

(4) 「第11回 親睦ボウリング大会」を開催

- ・日 時 : 2025年9月26日 18:40~20:00
- ・会 場 : 東京ドーム ボウリングセンター
- ・会 費 : 4,000円
- ・参加者 : 19社/120名

(5) (一社) 日本科学機器協会 2026年賀詞交歓会に賛同し、共に新年を祝った。

- ・日 時 : 2026年1月13日 17:30~19:00
- ・会 場 : グランドプリンスホテル高輪「プリンスルーム」
- ・会 費 : 12,000円
- ・参加者 : 343名

(6) 「第77回新春大懇親会」を開催

- ・日 時 : 2026年1月23日~24日
- ・会 場 : 熱海後樂園ホテル
- ・会 費 : 33,000円
- ・参加者 : 68社/132名

(7) 「創立80周年記念親睦ゴルフ大会」を開催

- ・日 時 : 2026年3月4日
- ・会 場 : 東京バーディクラブ
- ・会 費 : 無料
- ・参加人数 : 34社/43名

10. 創立80周年記念事業 (日科協との共同事業)

協会創立80周年にあたって、委員会を編成して、主に次の活動の準備を行い、実施した。

- (1) 創立80周年記念表彰式を、2025年5月30日に、上野精養軒において挙行し、会員表彰を行った。
- (2) 創立80周年記念祝賀会を2025年11月27日に、東京會館において開催した。

((一社) 日本科学機器協会と合同)

(3) 創立 80 周年記念親睦ゴルフ大会を, 2026 年 3 月 4 日に東京バーディクラブにおいて開催した。

(4) (一社) 日本科学機器協会 80 年史の編纂・刊行に協力した。

1 1. 団体 PL 保険制度への参加協力

会員企業の経済的リスク軽減を図る主旨で, 東京海上日動火災保険会社と提携して, (一社) 日本科学機器協会団体 PL 保険 (製造物賠償責任保険) 制度に, 当期中も本会会員企業が加入して, 同制度の継続に協力した。

1 2. グループ保険制度への参加協力

会員企業の福利厚生の実現を図ることを目的とし, 生命保険会社の協力を得て, 1997 年 2 月 1 日付で設立された (一社) 日本科学機器協会グループ保険制度に, 当期中も本会会員企業が加入して, 同制度の継続に協力した。

1 3. 団体長期障害所得補償保険 (GLTD) への参加協力

会員企業の福利厚生制度の実現を目的に, 生命保険会社の協力を得た, (一社) 日本科学機器協会団体長期障害所得補償保険 (GLTD) 制度に, 当期中も本会会員企業が加入して, 同制度の継続に協力した。

1 4. 官公庁・学会・団体等との協調および協力

当期中, 官公庁, 関係学会・関係団体と協調および協力を行った。

1 5. 部会等の活動に対する支援

当期中, 次の部会等の活動を支援した。

(1) S. J. C. (サイエンス・ジュニアーズ・クラブ) では, 勉強会をはじめ講演会・企業見学会を開催したほか, 社会貢献活動を行うなど年間を通じて業界の後継者としての素養の研鑽に励み, 本会はこれを支援した。

(2) サイエンス部会では, 年 5 回例会を開いて会員相互の親睦と研鑽に努め, 本会は

これを支援した。

16. 対外機関への支援・協力

当期中、関係学会・友好団体等の活動に対して協賛又は協力した。